

## 平成 28 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅡ講座 准教授
氏名 Name	宮脇 聡史
専門分野 Academic Field	フィリピン地域研究／宗教社会学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	フィリピンのカトリック教会、政治、性・家族・生殖
<p>フィリピンのカトリック教会をめぐる政教関係についての見直し作業はあまり進められなかったが、それでも、第 10 回フィリピン研究国際会議(ICOPHIL10)での発表を通じて、フィリピン・カトリック教会の民主化後の教会刷新の中での政教関係についての再点検をある程度行うことができた。また『フィリピンを知るための 64 章』の「政教関係」に関する原稿の執筆及び改訂作業の過程で、フィリピンの政教関係を東南アジア諸国における政教関係との比較の中で、歴史背景を踏まえて再検討することができたのも大きな収穫であった。政教関係のより具体的な局面（特に選挙への関与、法制過程への関与、社会政策とのかかわりなど）や、あるいは時期を区切った同時代的な観点からの資料の読み直しについては、科研の研究と関わらせながらの今後の課題となった。</p> <p>「東南アジアにおける LGBT の政治」に関する科研の研究については、性的少数者に関するグローバルなトレンドや日本の昨今の動静、法制度上の課題など一般的な状況のレビュー、東南アジアにおける性的少数者をめぐる諸事情と政治的な問題の把握、そしてフィリピンにおける性的少数者に関する研究資料の収集を進めることができ、問題の性質をかなりの程度理解することができた。またカトリック教会の性と生殖に関する教理・方針・制度・運動などに関する情報の調査も進んだ。こうしたことを踏まえて、科研の研究会での発表、そして日本比較政治学会での発表を行うことができた。さらにこれらの基礎調査を踏まえて、7 月、9 月、3 月と現地で当事者及び関係者との議論を積み重ね、「キリスト教国フィリピン」における諸教会の性的少数者をめぐる多様なアプローチと神学上の論点について調査を進めることができた。</p> <p>これまで断続的に関わってきた災害復興と教会との関わりについては、残念ながら現地を訪問する機会を逸したこともあり、進んでいない。今後の課題としたい。</p>	